

## 平成25年度第1回宇都宮市民大学運営協議会議事録

1. 開催日時 平成25年8月6日(火) 午前10時～午前11時30分
2. 開催場所 人材かがやきセンター 研修室(中央生涯学習センター5階)
3. 出席者 委員 8名(別紙参照)  
事務局 8名(生涯学習課)  
大竹課長, 高栖係長, 櫻井総括主査, 佐藤専任主査, 高田社会教育主事,  
藤田社会教育主事, 味野和主事, 鈴木地域教育指導員

4. 公開・非公開の別 公開

5. 傍聴人 0人

6. 会議次第

(1) 開会

(2) 議題

- ① 宇都宮市民大学運営協議会会長の選任について
- ② 平成25年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について
- ③ 平成25年度宇都宮市民大学後期講座の実施について
- ④ 平成26年度宇都宮市民大学の実施について

(3) その他

(4) 閉会

7. 会議資料 別添資料参照

8. 議事の経過

(1) 開会

事務局) … それでは、ただいまより、平成25年度第1回宇都宮市民大学運営協議会を開会いたします。

まず、定足数についてご報告申し上げます。本日の出席委員は、8名となっており、中島委員と長谷川委員からは、欠席の連絡をいただいております。出席委員は半数を超えておりますので、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第6条第2項の規定を満たしており、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

(2) 議題

① 宇都宮市民大学運営協議会会長の選任について

事務局) … 議事に入りたいと存じますが、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第2項の規定により、議事は会長が進行することとなっておりますが、これまで、会長をお願いしておりました宇都宮大学 地域連携教育研究センターセンター長 石野健二会長が御異動に伴い、現在 会長席が空席となっております。つきましては、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第3項の規定に基づき、会長が選出されるまでの間、職務代理者であります 岡田副会長にお願いいたします。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ 会長が決定されるまで、副会長である私が、議事を進行して参ります。

それでは議事に入りたいと思います。議事が円滑に進むよう、委員のみなさんの御協力をお願いいたします。次第をご覧ください。議題（１）「会長の選任について」事務局から説明をお願いします。

事務局) … 会長の選任につきましては、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条の規定により、「協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。」とございますことから、委員の皆様の中から、会長を選出していただきたく存じます。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ この件につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言願います。

石塚委員⇒ 竹澤委員を推薦いたします。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ ただいま、石塚委員から提案がありましたが、竹澤委員に会長職をお引き受けいただくことに、ご意見はありますでしょうか。

各委員⇒ 異議なし。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ 竹澤委員、いかがでしょうか。

竹澤委員⇒ 承諾いたします。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ それでは、竹澤委員に会長をお願いします。竹澤会長、一言お願いいたします。

竹澤会長⇒ 会長にご指名いただきました竹澤です。本協議会を円滑に進めるとともに、市民大学事業がよりよいものとなっていくよう努めて参りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

岡田副会長（会長職務代理）

⇒ ありがとうございます。無事、会長が決定されましたことから、ここからの進行は、竹澤会長にお願いいたします。

竹澤会長⇒ 只今、会長にご指名いただいたことに伴い、これまで私が引き受けおりました監事が空席となります。

監事につきましては、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第7条の規定により、「監事は会長が指名する」とありますことから、私から指名させていただきたいと存じます。名簿ナンバー5番とちぎボランティア NPO センター ぽら小針協子委員にお願いしたいと思います。皆様、よろしいでしょうか。

各委員⇒ 異議なし。

竹澤会長⇒ 小針委員、よろしいでしょうか。

小針委員⇒ 承諾いたします。

竹澤会長⇒ それでは、小針委員に監事をお願いいたします。

## ② 平成25年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について

(発言の主旨)

小針委員⇒ リピーターは今までもいたのですか。また、以前に比べてどれくらい増えましたか。

事務局) … 例年、リピーターは7～8割を占めています。(その要因としては、)周知方法の一つとして直前の受講者(24年後期)にパンフレットを送付していることが影響しているのではないかと考えています。平成24年度前期・後期のリピーターは約75%でした。

小針委員⇒ サークルを作るなど地域に活かす感じが出てきたことやリピーターがいることは良いと思います。1回の講座で興味を持ってもらうのはなかなか難しく、何回か参加する中で、徐々に学びの成果がでてきたと感じます。また、講座の内容が良くてリピーターが増えてきたことは今後につながっていくと感じます。

川本委員⇒ 専門講座の年代構成はどうなっていますか。

事務局) … 60代・70代が多い結果となっています。

川本委員⇒ 今を読み解く現代社会コースの受講者が非常に少なかったことから、今後、若い世代に受講してもらえよう講座を考えて欲しいです。

## ③ 平成25年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

(発言の主旨)

小針委員⇒ 前期講座は外に出かける館外学習がありましたが、後期講座もあるのですか。

事務局) … 6講座中5講座で館外学習を予定しています。

小針委員⇒ 館外学習は興味や関心が非常に高まるし、学びの効果も大きいと思います。

竹澤委員⇒ 館外学習の場所は決まっているのですか。

事務局) … 日程等は決定しておりますが、行き先については調整中です。

岡田委員⇒ (後期講座の)パンフレットの作成はどうなっていますか。

事務局) … パンフレットは作成中です。8月末には各生涯学習センター等市施設に設置し、9月号の広報紙にも掲載する予定です。

## ④ 平成26年度宇都宮市民大学の実施について

(発言の主旨)

饗庭委員⇒ 生涯学習コーディネーターは何名位いるのですか。

事務局) … 生涯学習コーディネーターは毎年度登録制で今年度の登録は76名です。全員が講座の企画に参加できますが、コーディネーターの中から毎年20企画程度が選考委員会に提出され、その中から9講座を選考しています。

小針委員⇒ 平成22年度から「地域で活躍できる人材づくり」に取り組んでいるとのことですが、市民大学の講座企画を通して、「人材づくり」をしていくのはとても大変なことだと思います。今日、いろいろ話を聞いて、(事務局の)皆さんの力が大きいと感じました。

より高度な教育を受けられる喜びがとても大きいのが、市民大学の持ち味ですが、学んだ成果を今後どうやって地域に活かすかを考えたとき、仲間とサークルを作り、学びを継続するのも次の学びに進む一歩であると思います。

また、地域に貢献する人づくりに関しては、学んだことを地域で生かす方法を知らない人がいることから、講師の方に地域に活かすヒントを一言でも話してもらえると効果的だと思います。

事務局) … 今年度初めて、講師の先生が市民大学の講座とは別に興味のある方に声をかけて館外学習を実施いたしました。これも一つの学びを活かすきっかけになるのではないのでしょうか。小針委員の発言のとおり、地域活動の受け皿部分は完全に整備されていません。また、講師による「ヒントの提供」も全部の講座で実施されているわけではありません。(そのような状況ではありますが、)講師と一緒に、市民大学で知り合ったことをきっかけに学びを続けることも一つであると考えています。

小針委員⇒ 学んだからといって、その学びをすぐに地域活動に活かせるものではないと思います。

竹澤会長⇒ 講座の中で、講師から地域に活かすためのヒントをアドバイスしていただきましょう。

岡田委員⇒ 共和大学那須キャンパスでは韓国語講座を実施しており、毎回、90分の講義後、30分のカフェ形式を設けています。公共機関で実施するのはなかなか難しいと思いますが、(お互いの)共通理解や講座では聞けないような話ができるようになりました。その影響なのか今年は受講者が10名から25名に増加しております。リピーターが増え、なおかつ仲間が仲間を呼んできたという結果が出ているのではないのでしょうか。難しい部分もありますがこのような方法もあります。

事務局) … 今後検討していきます。

小針委員⇒ 60代・70代の受講者が多いのは、それはそれで良いと思いますが、若い世代を対象とした講座は受講者が少ないです。若い人を対象とした講座を企画するのであれば、若い人が何を求めているのかりサーチし、60代・70代が考えた企画ではなく、30代・40代が考えた企画で試みてはいかがでしょうか。

竹澤会長⇒ 参加者の年代層とリピート率の関連性は、今後、市民大学を運営していく上で大事なポイントです。

事務局) … 講座の企画は選考委員会を経て決定します。

選考委員会では、人が集まらなくてもやらなければならない課題に重きを置いて選考したり、今回のように世代を絞って募集したりと試行錯誤しながら取り組んでいるため、なかなか結果が見えにくい状況もあります。

また、(市民大学は)市が主催する最高レベルの生涯学習事業ということで有料講座であり、人を集めるのは難しい部分もあります。今後、多くのご意見をいただきながら取り組んでいきます。

花積委員⇒ 昨年から子育て講座がなくなってしまいました。人数が集まらなくても一番大事なことであり、市の施策にもなっているので選考の際は考慮してほしいです。

また、受講料は一度に全額納めることにはなりますが、子育て中の女性はすべてに出席できるとは限りません。子育て講座は、もう少し安くするとか、出席したときだけ受講料を徴収するなど、特別な対応の検討をお願いします。

他の場所で実施している子育て講座は無料ですが、目先のことにとらわれていて、人が集まらなくても将来に向けた健全育成につながる子育て講座を企画して欲しいです。

委員長⇒ 有料講座の料金設定はどのように決めるのですか。

事務局) … 市民大学の学則では1時間250円、各講座は1コマ2時間が基本なので500円×コマ数で金額設定しています。

確かに子育て講座については、急遽、子どもの体調が悪くなったため出席できない方もいます。昨年度は出席コマごとに500円を徴収した経緯もあり、一つの方法として考えています。

川本委員⇒ (帝京大学)経済学部の地域経済学科では、学生が埼玉県内の里山を実際に訪れ、菜の花の植栽をしたり、地域の人とコミュニケーションを図ったりしています。市民大学は地域で活躍できる人材の育成が目的となっていますが、経済学科もそういう目的を持っています。(これからは、)若い人と年配者などの世代を越えたコミュニケーションも必要です。

生涯学習コーディネーターは学生が担うこともできるのですか。今現在、学生が生涯学習コーディネーターになるような方策を検討されているのですか。

事務局) … 先ほどの小針委員と花積委員のご感想に関連することと、川本委員のご意見に対してお答えします。

若者層の取り込みや子育て世代にも関連することですが、平成22年度・23年度に「地域で活躍できる人づくり」に生涯学習事業を大きく方向転換しました。本市の生涯学習講座は大きく3つに分かれ、市民大学の有料講座、各生涯学習センターと人材かがやきセンターの無料主催講座があります。「地域で活躍できる人づくり」に方向転換して一定の効果はありましたが、逆に課題として市民大学・生涯学習センター・人材かがやきセンターの各講座で、その視点に重点が置かれ講座の種類が混在化してきたため、3ヶ所で実施する講座の再整理を進めております。

今回、市民大学で実施した「ミドル世代」や「子育て」講座に人が集まらないのは、(市民大学は、)60代・70代の方が中心となっているリピーターが多い客層であるためです。若者世代向けの講座や子育て世代向けの講座は人材かがやきセンターの主催講座の中で企画していく考えています。

例えば、今年度は市民大学の講座をあまり受講しない20代～40代の世代を対象に、市民大学に劣らない内容で「宮の朝活」講座を早朝5時半から

7時半の時間帯で始めました。定員30名のところ45名の応募があり、第4回が終了したところです。第5回は市長が講師となり、まちづくりの講義をしていただく予定で非常に好評を得ています。こういった世代を絞って仕掛ける講座は、市民大学ではなくて、人材かがやきセンターの主催講座の中で実施していく考えです。

次に「生涯学習コーディネーターは学生ができるのか。」との質問については、コーディネーター養成講座は、仕事を定年された方を対象にしており、開講時間は午後1時半から4時半の時間帯になります。その時間帯では若者はなかなか受講できないため、就労世代の方がコーディネーターを担うのは非常に難しい（と考えています）。また、8月下旬には、カフェ形式・茶話会形式のコミュニケーションを意識した主催講座をはじめの試みとして予定しています。

公開講座は市民大学を広く周知し、はじめての人にも知ってもらう狙いがありますが、同じように主催講座も市民大学を周知する一つの方法として活用しながら、多様な課題や各世代の学習ニーズに対応していきたいと考えています。また、子育て講座に関しては、親学出前講座や各生涯学習センター企画講座で、複合的に無料で実施しているところです。

小針委員⇒ 地域で活躍できる人材を考えた時、（きっかけがないと）若者との世代間交流は難しいです。60代・70代の集団に学生は入りづらいと聞きますし、逆に、60代・70代が学生の集団に入っていくのも抵抗があると思います。しかし、同じ学びの仲間としてなら、その垣根を越えられるのではないのでしょうか。（本日の意見等は、）これから先の「地域で活躍できる人材づくり」の大きなヒントになるのではないかと感じました。

### (3) その他

事務局) … 本日の会議で決定された内容を踏まえ、8月28日に生涯学習コーディネーター連絡会議を開催し、来年度の市民大学講座の企画募集を周知します。

その後、11月に企画の応募、選考委員会を経て本会議において、選考内容の承認を行いますことから、次回の協議会は、12月上旬を予定しています。

### (4) 閉会

事務局) … それでは、これをもちまして、平成25年度第1回宇都宮市民大学運営協議会を閉会いたします。